

清 瀬 市 の

わ か り や す い

予 算 書



平成23年度当初予算

目 次

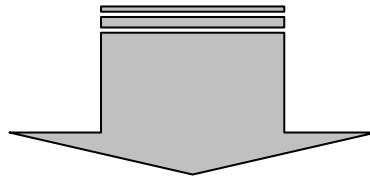
◇ 予算編成のポイント	1
◇ 財政規模	2
◇ 歳入の状況	3
◇ 歳出の状況（目的別）	4
◇ 歳出の状況（性質別）	5
◇ 清瀬市の家計簿	6
◇ 平成23年度の主要事業	7
① 将来を担う人を育てるまち	7
② だれもが能力を發揮できるまち	12
③ 生きがいもてるまち	13
④ 安全に暮らせるまち	15
⑤ 健康で明るく暮らせるまち	17
⑥ 福祉が充実したまち	18
⑦ 利便性を高める都市基盤づくり	20
⑧ 豊かさを育む産業の育成	21
⑨ 豊かな自然を大切にするまち	22
⑩ だれもが住みやすい快適なまち	23
⑪ 市民協働によるまちづくりの推進	24
⑫ 健全財政の確立と効率的な行政運営	25
◇ 資料編	26
① 市債現在高の状況	27
② 積立金現在高の状況	28
③ 職員数及び人件費の状況	29
④ 財政指標の状況	30
⑤ 道路整備箇所案内図	31
⑥ 人口一人当たりの予算額 26市の状況	32

表紙の写真：清瀬けやきホールで披露された市指定無形民俗文化財の『下宿囃子(ばやし)』（清瀬市市制施行40周年記念式典にて）

◆ 予算編成のポイント

【市政を取り巻く環境】

- 平成23年度予算では、地方交付税の増は見込まれるものの、市税収入が1億円を超えて大きく減収する見込みです。一方、歳出につきましては生活保護費、自立支援給付費などの社会保障費が引き続き大きく増加しており、こうした歳出の大幅な増加に対し、臨時財政対策債の活用や財政調整基金からの繰り入れで対応せざるを得ず、市財政は引き続き非常に厳しい状況にあると言えます。
- 地域主権への第一歩として、東京都からの事務移譲が本格的な協議に入ることになるため、職員は政策立案や実行能力を磨き、新たな市民サービスへの対応力を身につけ、持続できるまちづくりを進めて行かなければならないと考えています。



【予算編成基本方針】

平成23年度予算は、次の点を基本方針として編成しました。

- 1 武蔵野の原風景をとどめる「雑木林」や「農ある風景」を守りながら、市民の皆さんに「住み続けたい」と思っていただける「環境の清瀬」を推進すること。
- 2 「子育てするなら清瀬」、「清瀬で育てよかった」と思っていただける「子育てしやすい清瀬」として、待機児童の解消やきめ細やかな子育て施策を推進すること。
- 3 学力や体力の向上を目指すため「読書の清瀬」「スポーツの清瀬」を教育の重点施策とし、また教育環境の充実にも努めること。
- 4 市民の皆さんとともにまちづくりを進めるため、これまで以上に「市民協働の推進」を前進させること。

以上を市民の皆さんが安心して生活できるよう、市職員一丸となって、志高く、自己を磨き、各種課題に積極的に取り組むことを基本方針とするものです。

◆ 財政規模

平成23年度の一般会計予算規模は、266億5,400万円で、対前年度比較で1.7%の減となりました。また、一般会計に5つの特別会計をあわせた総予算額は、425億5,900万円で、対前年度比較で0.1%の増となりました。

【財政規模前年度比較】

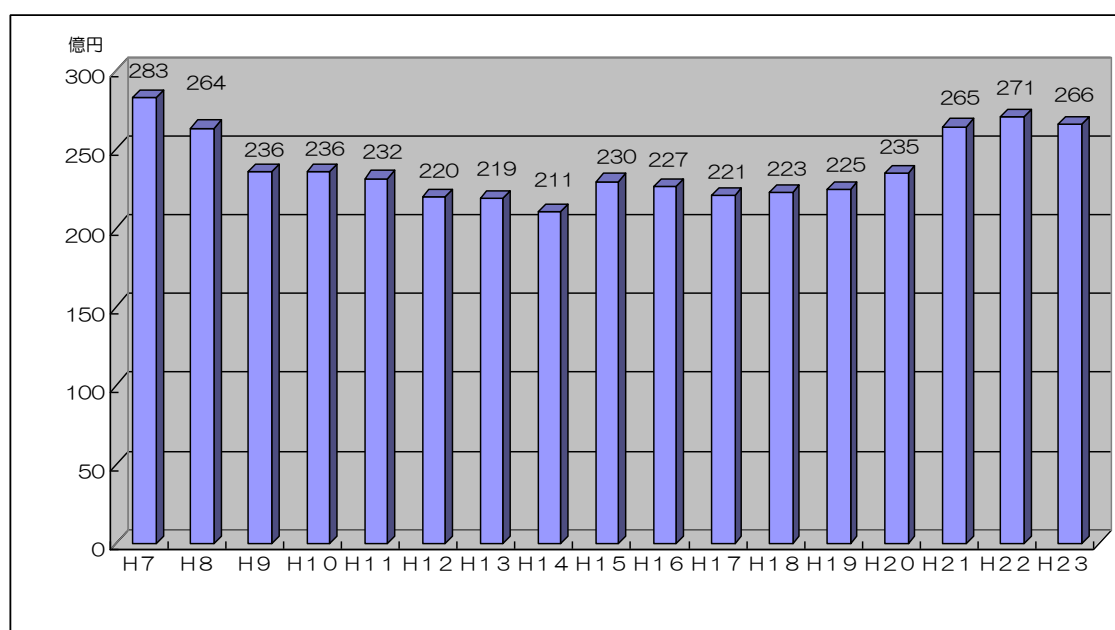
(単位:千円、%)

区 分	平成23年度	平成22年度	増 減 額	増 減 率
一般会計 ※1	26,654,000	27,104,000	▲ 450,000	▲ 1.7
特別会計 ※2	15,905,000	15,429,000	476,000	3.1
国民健康保険事業	8,537,000	8,433,000	104,000	1.2
下水道事業	1,402,000	1,421,000	▲ 19,000	▲ 1.3
駐車場事業	83,000	80,000	3,000	3.8
介護保険	4,545,000	4,237,000	308,000	7.3
後期高齢者医療	1,338,000	1,252,000	86,000	6.9
老人保健医療	廃 止	6,000	▲ 6,000	—
合 計	42,559,000	42,533,000	26,000	0.1

※1 一般会計：地方公共団体の行政運営に必要な基本的な経費を計上した会計です。

※2 特別会計：特定の事業を行う場合、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般会計と区分して特別に経理する必要がある場合に設ける会計です。

【一般会計財政規模の推移】

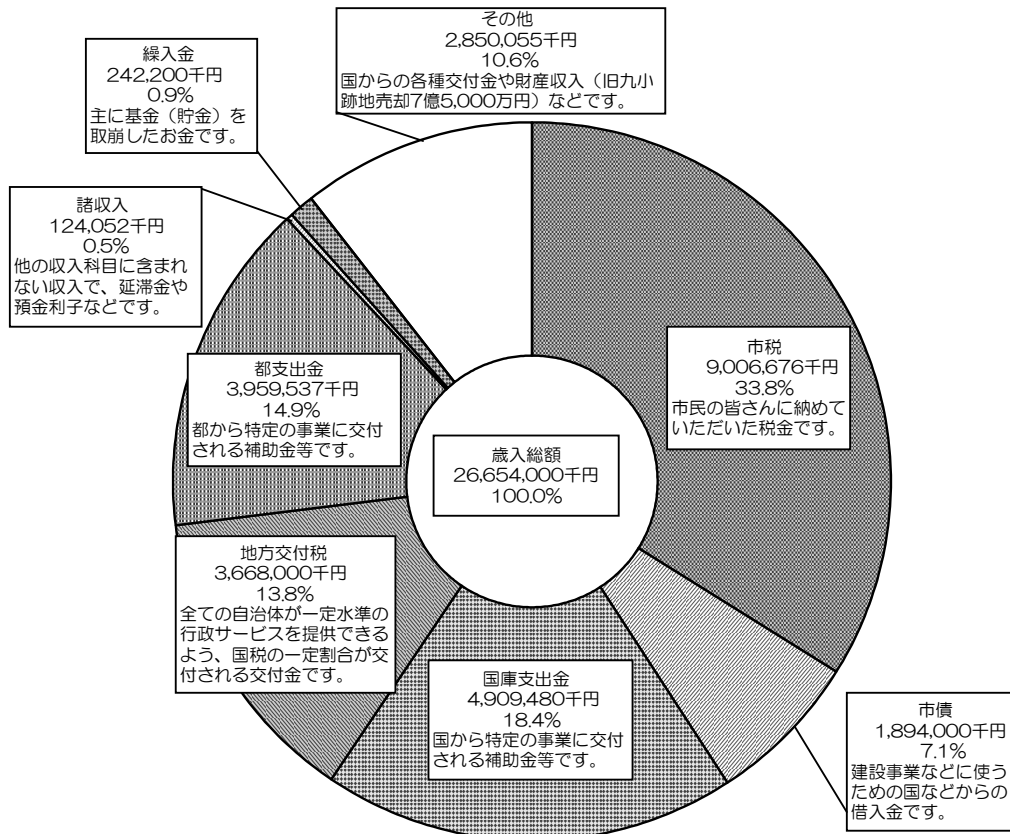


※ 平成16年度予算規模には、減税補てん債借換分を除いた227億6,670万円を表示しています。

◆ 歳入の状況

(単位：千円、%)

款	平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
1 市税	9,006,676	9,145,142	▲ 138,466	▲ 1.5
2 地方譲与税	121,000	125,000	▲ 4,000	▲ 3.2
3 利子割交付金	60,000	50,000	10,000	20.0
4 配当割交付金	22,000	18,000	4,000	22.2
5 株式譲渡所得割交付金	14,000	10,000	4,000	40.0
6 地方消費税交付金	675,000	670,000	5,000	0.7
8 自動車取得税交付金	67,004	49,004	18,000	36.7
9 国有提供施設等所在市町村助成交付金	21,673	20,726	947	4.6
10 地方特例交付金	116,480	124,484	▲ 8,004	▲ 6.4
11 地方交付税	3,668,000	3,138,000	530,000	16.9
12 交通安全対策特別交付金	10,000	10,000	0	0.0
13 分担金及び負担金	228,975	242,405	▲ 13,430	▲ 5.5
14 使用料及び手数料	321,487	321,949	▲ 462	▲ 0.1
15 国庫支出金	4,909,480	4,958,089	▲ 48,609	▲ 1.0
16 都支出金	3,959,537	3,760,764	198,773	5.3
17 財産収入	750,036	3,580	746,456	20,850.7
18 寄附金	42,400	16,100	26,300	163.4
19 繰入金	242,200	539,885	▲ 297,685	▲ 55.1
20 繰越金	400,000	400,000	0	0.0
21 諸収入	124,052	166,072	▲ 42,020	▲ 25.3
22 市債	1,894,000	3,334,800	▲ 1,440,800	▲ 43.2
歳入総額	26,654,000	27,104,000	▲ 450,000	▲ 1.7

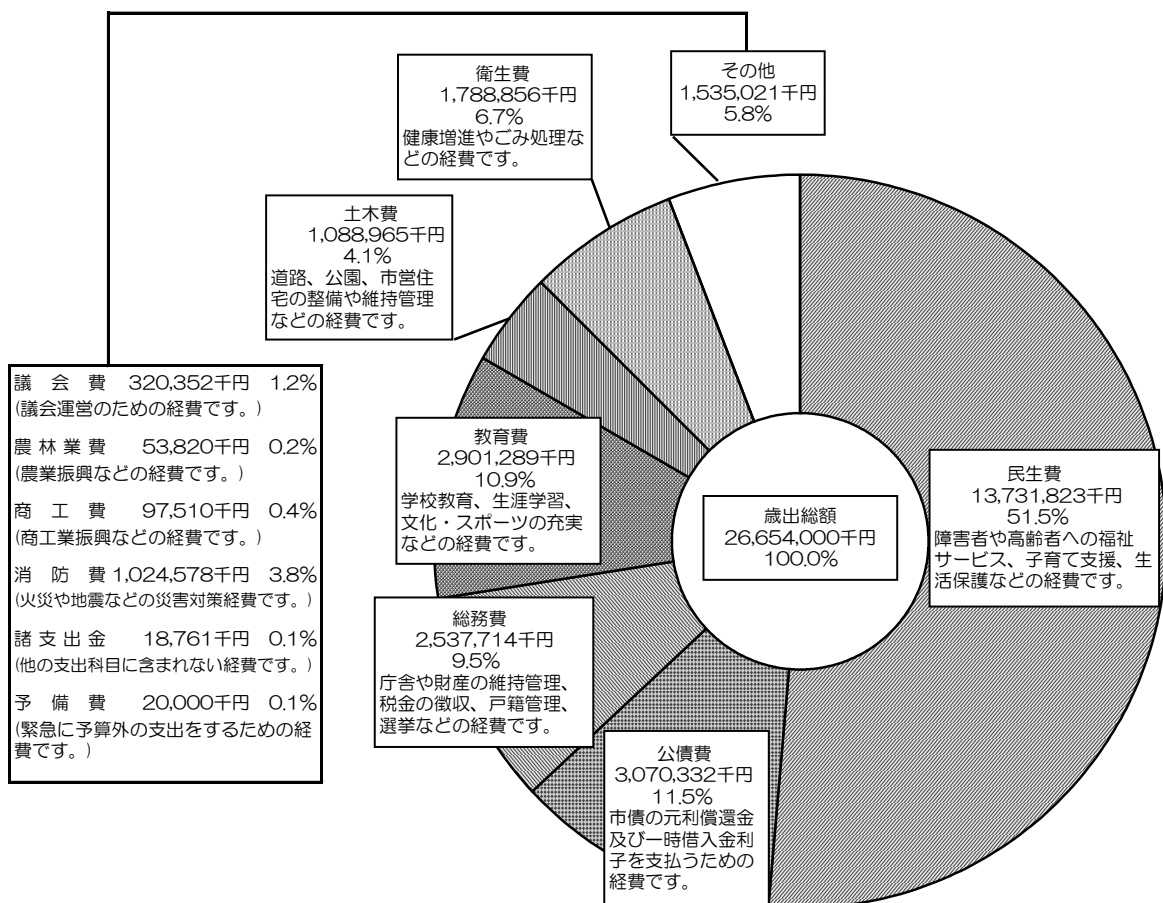


◆ 歳出の状況（目的別）

市の歳出を議会費や総務費など、行政目的別に区分すると以下のとおりです。

（単位：千円、％）

款	平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
1 議会費	320,352	243,180	77,172	31.7
2 総務費	2,537,714	4,353,289	▲ 1,815,575	▲ 41.7
3 民生費	13,731,823	13,062,317	669,506	5.1
4 衛生費	1,788,856	1,680,731	108,125	6.4
5 農林業費	53,820	57,653	▲ 3,833	▲ 6.6
6 商工費	97,510	100,184	▲ 2,674	▲ 2.7
7 土木費	1,088,965	841,484	247,481	29.4
8 消防費	1,024,578	996,910	27,668	2.8
9 教育費	2,901,289	3,481,512	▲ 580,223	▲ 16.7
10 公債費	3,070,332	2,229,229	841,103	37.7
11 諸支出金	18,761	37,511	▲ 18,750	▲ 50.0
12 予備費	20,000	20,000	0	0.0
歳出総額	26,654,000	27,104,000	▲ 450,000	▲ 1.7



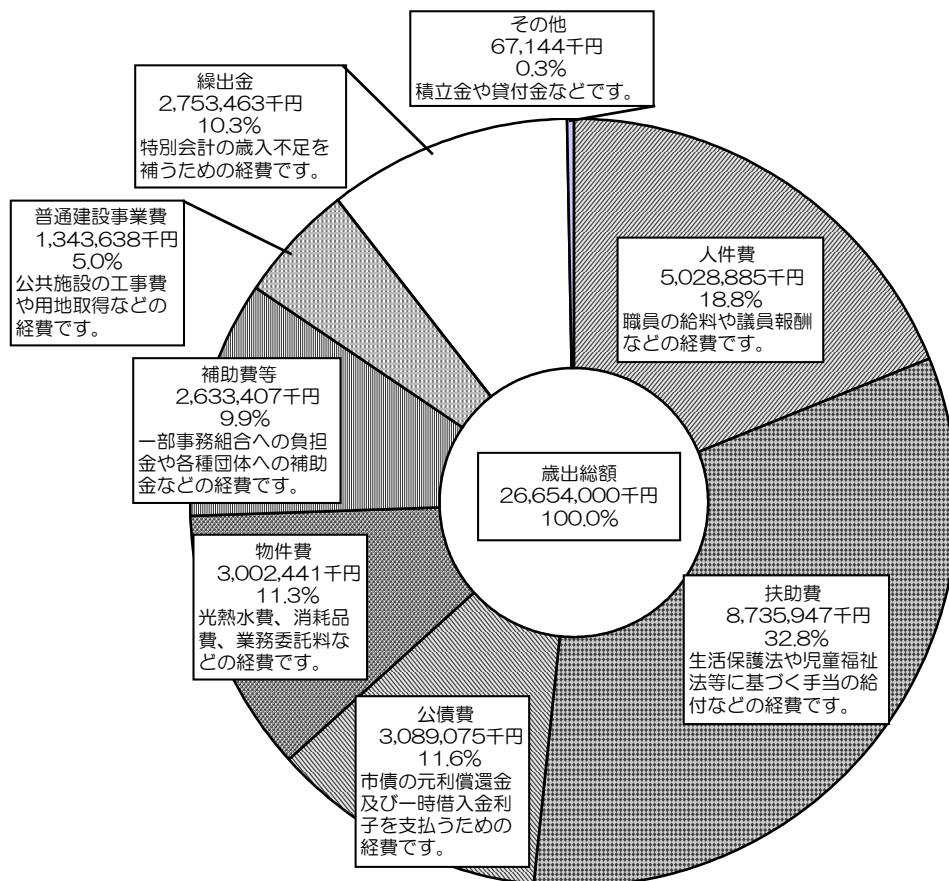
◆ 歳出の状況（性質別）

市の歳出を人件費や物件費など、性質別に区分すると以下のとおりです。

（単位：千円、％）

項目	平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
1 人件費	5,028,885	4,968,499	60,386	1.2
うち職員給与等	4,013,266	4,101,065	▲ 87,799	▲ 2.1
2 扶助費	8,735,947	8,120,738	615,209	7.6
3 公債費	3,089,075 (2,339,075)	2,266,720	822,355 (72,355)	36.3 (3.2)
小計 〔義務的経費〕	16,853,907 (16,103,907)	15,355,957	1,497,950 (747,950)	9.8 (4.9)
4 物件費	3,002,441	2,926,184	76,257	2.6
5 維持補修費	26,006	23,053	2,953	12.8
6 補助費等	2,633,407	2,582,214	51,193	2.0
7 普通建設事業費	1,343,638	3,369,294	▲ 2,025,656	▲ 60.1
8 積立金	2,126	2,126	0	0.0
9 投資及び出資金	0	350,000	▲ 350,000	▲ 100.0
10 貸付金	19,012	17,756	1,256	7.1
11 繰出金	2,753,463	2,457,416	296,047	12.0
12 予備費	20,000	20,000	0	0.0
合計	26,654,000	27,104,000	▲ 450,000	▲ 1.7

※（ ）内は旧九小跡地売払収入を財源とした旧清瀬東高跡地取得に係る市債の一部繰上償還750,000千円を除いた数値



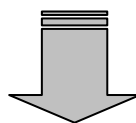
◆ 清瀬市の家計簿

清瀬市の予算をご家庭の家計簿に置き換えてみると、以下のとおりです。

平成 23 年度（予算）

収入			支出		
		(構成比)			(構成比)
給料（基本給+諸手当）	31万3,728円	85.9%	食費等日常経費（人件費）	6万8,956円	18.8%
・基本給（市税）	12万3,499円	33.8%	医療費・保育費（扶助費）	11万9,787円	32.8%
・諸手当（地方交付税・国庫支出金など）	19万2,229円	52.1%	ローン返済（公債費）	4万2,357円	11.6%
家賃収入（使用料・手数料）	4,408円	1.2%	日用品・光熱水費（物件費）	4万1,169円	11.3%
ローン（市債）	2万5,970円	7.1%	自治会費など（補助費等）	3万6,109円	9.9%
雑収入（諸収入・寄附金など）	2万1,372円	5.8%	家の増改築（普通建設事業費）	1万8,424円	5.0%
			子どもへ仕送り（繰出金）	3万7,755円	10.3%
			雑費（積立金・貸付金など）	921円	0.3%
合計	36万5,478円	100.0%	合計	36万5,478円	100.0%

※ 予算額を人口（7万 2,929 人、23 年 4 月 1 日現在）で割って算出



5 年前の家計簿は？

平成 18 年度（決算）


収入			支出		
		(構成比)			(構成比)
給料（基本給+諸手当）	27万2,186円	86.5%	食費等日常経費（人件費）	6万7,982円	22.7%
・基本給（市税）	11万7,856円	37.5%	医療費・保育費（扶助費）	7万5,979円	25.3%
・諸手当（地方交付税・国庫支出金など）	15万4,330円	49.0%	ローン返済（公債費）	2万6,415円	8.8%
家賃収入（使用料・手数料）	4,820円	1.5%	日用品・光熱水費（物件費）	3万4,185円	11.4%
ローン（市債）	1万5,588円	5.0%	自治会費など（補助費等）	3万4,890円	11.6%
雑収入（諸収入・寄附金など）	2万2,091円	7.0%	家の増改築（普通建設事業費）	1万7,018円	5.7%
			子どもへ仕送り（繰出金）	2万8,599円	9.5%
			雑費（積立金・貸付金など）	1万5,101円	5.0%
合計	31万4,685円	100.0%	合計	30万1,699円	100.0%


※ 決算額を人口（7万 2,572 人、19 年 4 月 1 日現在）で割って算出

5 年前と比較すると、給料は増えているものの、医療費・保育費（扶助費）やローン返済（公債費）といった義務的経費の支出が大幅に増加しており、厳しい台所事情となっています。


◆ 平成 23 年度の主要事業


① 将来を担う人を育てるまち

ファミリー・サポート・センター事業費 (予算書掲載ページ：歳入37、45 歳出170)	子ども家庭支援センター	
	事業費	12,060千円
 <p>援助活動の様子（保育園への送迎）</p>	財 源	国 6,030千円、都 6,030千円
	ファミリー・サポート・センター委託	9,060千円
	病児・緊急対応強化事業委託	3,000千円
<p>育児の援助を受けたい人と育児の援助を行いたい人が会員登録し、アドバイザーがコーディネートを行います。保護者ができない保育施設等への送迎や自宅等での子どもの預かりをしています。また、病児・病後児保育、お泊り保育に対する緊急の預かりもしています。</p> <p>育児の援助を行いたい人は、規定の講習会を修了した者が担います。</p>		


ホームビジター派遣事業費 (予算書掲載ページ：歳出172)	子ども家庭支援センター	
	事業費	1,764千円
 <p>訪問の様子</p>	財 源	一般財源※ 1,764千円
	ホームビジター委託	1,464千円
	ビジター養成講師費	300千円
<p>近くに頼る人がいない、友だちがいなくて淋しい、子どもに泣かれるとイライラするなど、子育てが大変と思う時に利用できます。研修を受けた子育て経験者（ホームビジター）が、就学前の乳幼児を養育する家庭を訪問して、親の気持ちに寄り添いながら支援をします。</p> <p>保護者の話を聞いたり、家事（食事の準備・洗濯・掃除など）・育児を一緒に取り組みます。なお、利用料は無料となります。</p>		


※ 一般財源：市税や地方交付税など、使いみちが特定されず、どのような経費にでも使用できる財源です。


いきいき子育て支援等事業費 (予算書掲載ページ：歳入45 歳出170)	子ども家庭支援センター	
	事業費	4,442千円
 <p>パパのベビーマッサージによる誕生・パパママ会</p>	財源	都 4,442千円
	いきいき子育て支援等委託	4,442千円
<p>保健師・助産師・保育士・栄養士等、地域のお母さんの協力を得ながら、親になるための様々な講座を提供し、自助グループの立ち上げ、虐待予防・子どもの発達促進を行っています。</p>		


認定こども園運営費等助成費 (予算書掲載ページ：歳入45 歳出150)	子育て支援課	
	事業費	12,629千円
 <p>認定こども園の保育室と園児たち</p>	財源	都 6,314千円、一般財源 6,315千円
	運営費等補助金	12,629千円
<p>認定こども園とは、①保護者が働いている、働いていないに関わらず受け入れて、就学前の子どもに幼児教育・保育を行うこと、②すべての子育て家庭を対象に、子育て不安に対応した相談活動や、親子の集まりの場の提供などを行う施設のことです。</p> <p>現在、清瀬市内には4つ（きよせ・たから・ひかり・ゆりかご）の認定こども園があり、運営費などに対する補助をしています。</p>		

私立保育園助成事業費 (予算書掲載ページ：歳出162)	子育て支援課	
	事業費	96,220千円
 <p>きよせ保育園舎（増築後）</p>	財源	一般財源 96,220千円
	運営費等補助金	96,220千円
<p>清瀬市内にある私立保育園5園に対して運営費などの補助をしています。また、市内にお住まいの乳幼児が市外の私立保育園に通っている場合については、市外私立保育園に対して運営費などへの補助をしています。</p> <p>なお、4月から私立きよせ保育園で定員66人の増が図られました。このことで、認可保育園の定員数は1,112人から1,178人になりました。</p>		

認可外保育施設助成事業費 (予算書掲載ページ：歳入35、45 歳出162)	子育て支援課	
	事業費	39,204千円
 <p>病児・病後児保育室を付設されるクリニック完成予定図</p>	財源	国 8,583千円、都 20,121千円、一般財源 10,500千円
	認可外保育施設運営費等補助 病児保育室整備・運営補助	5,208千円 33,996千円
<p>都内の保育室に市内の乳幼児が入所した場合、運営費補助をしています。 また、武蔵野総合クリニックが9月（予定）に清瀬駅北口で新規医療機関を開設し、病児保育施設を併設することから、病児保育施設に対する施設整備補助及び運営費補助をします。</p>		

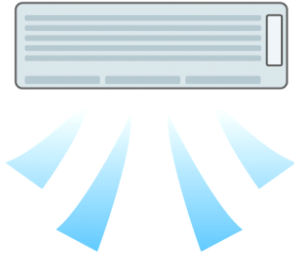
子ども手当事業費 (予算書掲載ページ：歳入33、41 歳出152)	子育て支援課	
	事業費	1,590,185千円
	財源	国 1,281,544千円、都 154,824千円、一般財源 153,817千円
	子ども手当 その他諸経費	1,583,508千円 6,677千円
<p>子ども手当は、次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で応援するという趣旨のもとに、子どもを養育している方に支給するものです。 対象者は、15歳に到達した年の年度末（中学校修了前）までの子どもを養育している方に支給します。</p>		

放課後子ども教室推進事業費 (予算書掲載ページ：歳入45 歳出158)	児童センター	
	事業費	30,947千円
	財源	都 15,951千円、一般財源 14,996千円
	学習アドバイザー等報償	20,887千円
	安全管理・指導員等謝金 その他諸経費	9,135千円 925千円
<p>全ての小学校において、放課後における子どもたちの安全で健やかな居場所作りを行っており、学習アドバイザーや安全管理・指導員を配置し、子どもたちと一緒に学習や遊びなどを行っています。</p>		


学力向上推進事業費 (予算書掲載ページ：歳出256、258)	指導課	
	事業費	33,407千円
	財源	一般財源 33,407千円
	学習サポーター賃金等	24,277千円
	学力調査費等	5,570千円
	清瀬教師塾 その他諸経費	1,600千円 1,960千円
<p>小・中学校の児童・生徒の学力向上を図るため、学力調査の実施や学習サポーターによる学習支援を行います。また、教師の指導力を向上させるため5～10年目の教師を中心に「清瀬教師塾」を開催するとともに、読書活動指導員を小・中学校全校に配置し、読書好きの児童・生徒を増やします。</p>		

清瀬市教育相談センター関係経費 (予算書掲載ページ：歳入51 歳出252)	指導課	
	事業費	35,585千円
	財源	都 3,425千円、一般財源32,160千円
	相談員報酬等 施設維持管理費等	31,184千円 4,401千円
<p>学校生活になじめず、登校することが困難な状況にある子どもたちに集団生活の場を提供し、学習支援を行うなどの取組みを相談員・指導員が行っています。また、小学校全校にスクールカウンセラーを週1日8時間配置し、児童の心のケアや保護者及び教員の相談などに対応しています。</p> <p>さらに、不登校等の問題改善のためスクールソーシャルワーカーや巡回指導員が定期的に学校を訪問している他、外国人児童・生徒のために日本語指導員を配置し、日本語習得のための指導を行っています。</p>		


中学校給食調理業務委託事業 (予算書掲載ページ：歳出282)	学務課	
	事業費	95,000千円
 <p>中華ちまきづくりの様子</p>	財源	一般財源 95,000千円
	委託料	95,000千円
<p>中学校の給食調理については、小学校の直営方式とは異なり、民間企業に委託しています。また、平成23年度は、新学習指導要領の改訂に伴い、授業時間数を確保する必要があるため、給食回数を171回から180回へ増やすこととしています。</p>		


小中学校エアコン整備事業費 (予算書掲載ページ：歳入37、47、63 歳出258)	教育総務課	
	事業費	292,439千円
	財源	国 47,910千円、都 138,148千円、市債 93,000千円、一般財源 13,381千円
	実施設計費 工事請負費	29,500千円 262,939千円
<p>夏季期間の猛暑対策として、平成23、24年度の2ヵ年で小中学校の普通教室等にエアコンを整備し、平成23年は第六小学校、第八小学校、清明小学校及び全中学校の整備を行う予定です。</p>		

第五中学校校庭芝生化事業 (予算書掲載ページ：歳入47 歳出258)	教育総務課	
	事業費	90,500千円
 <p>このグラウンドが芝生になります</p>	財源	都 90,500千円
	工事監理費	1,000千円
	工事請負費 芝刈り機等購入費	86,000千円 3,500千円
<p>平成22年度の第三中学校に引き続き、ヒートアイランド現象の軽減とともに学校の緑化を推進するため、第五中学校の運動場芝生化を実施します。なお、清瀬小学校及び第十小学校については、校庭の一部芝生化をすでに実施しています。</p>		


芝山小学校大規模改造事業 (予算書掲載ページ：歳入41 歳出270、271)	教育総務課	
	事業費	9,000千円
 <p>現在の芝山小学校の状況</p>	財源	都 7,200千円(市町村総合交付金)、一般財源1,800千円
	実施設計費	9,000千円
<p>平成24年度に予定している芝山小学校校舎の外壁塗装や屋上防水など、大規模改造を行うために、今年度は実施設計を行います。なお、市内の小中学校施設の耐震化については、平成22年度までに完了しています。</p>		


② だれもが能力を発揮できるまち


平和祈念関係経費 (予算書掲載ページ：歳出88)	企画課	
	事業費	1,099千円
 <p>昨年のピース・エンジェルス</p>	財源	一般財源 1,099千円
	ピース・エンジェルス実行委員会補助金	749千円
	平和祈念展等実行委員会補助金	350千円
<p>平和の大切さを学び、市民の皆さんに平和の大切さを伝えてもらうことを目的として、毎年小中学生10名を広島市に派遣しています。</p> <p>また、「非核清瀬市宣言」を受け、市民の皆さんとの協働による平和祈念展を毎年開催し、講演会や映画会等を行っています。いずれも、実行委員会方式で行っていますので、予算は、実行委員会に対する補助金です。</p>		


男女共同参画センター関係経費 (予算書掲載ページ：歳入29 歳出98)	男女共同参画センター	
	事業費	12,089千円
	財源	センター使用料 372千円、一般財源 11,717千円
	相談員等報酬	9,909千円
	緊急一時保護施設運営助成	200千円
	トイレ暖房便座設置工事費	232千円
	その他諸経費	1,748千円
<p>男女共同参画センター（アイレック）は、清瀬市の男女平等推進の拠点施設です。男女平等推進に係る計画立案・実施、男女平等推進委員会などの開催、講座や広報誌「Ms.スクエア」の発行、開設を記念したアイレックまつり、女性の生き方・法律・DV・しごとの各相談事業などを行っています。なお、平成23年度においては、相談事業の充実、また、センターの環境整備（トイレの便座暖房化）などを行います。</p>		

③ 生きがいもてるまち

東京国体関係経費 (予算書掲載ページ：歳入41、47、63 歳出304)		生涯学習スポーツ課	
		事業費	253,330千円
 <p>東京国体PR活動（陸上記録会）</p>	財源	都 127,293千円（うち市町村総合交付金 31,600千円）、地方債（市債）117,000千円、一般財源 9,037千円	
	サッカー場整備費	252,247千円	
	国体実行委員会補助金	700千円	
	その他諸経費	383千円	
<p>平成25年度に開催される東京国体で、清瀬市がサッカー競技（女子）の会場となることから、下宿第三運動公園サッカー場の人工芝への改修や観客席、トイレの新設などを行います。また、国体実行委員会の設置など、東京国体の開催に向けて準備を進めます。</p>			


コミュニティプラザひまわり管理運営経費 (予算書掲載ページ：歳入31、41 歳出284)		生涯学習スポーツ課	
		事業費	46,462千円
 <p>コミュニティプラザひまわり</p>	財源	都 5,200千円（市町村総合交付金）、駐車場使用料 432千円、一般財源 40,830千円	
	指定管理者委託料	39,329千円	
	トイレ整備費	6,550千円	
	屋内ひろば放送設備整備	500千円	
	建物保険料	83千円	
<p>コミュニティプラザひまわりは、東京都から購入した旧都立清瀬東高等学校施設を、生涯学習、スポーツ、福祉活動等市民活動の拠点施設として、平成22年7月にオープンしました。平成23年度においては、トイレ洋式化などの施設整備とともに、指定管理者（一般社団法人清瀬文化スポーツ事業団）による、ひまわり市や音楽コンサートなどの新たな事業を展開します。</p>			


清瀬けやきホール管理運営経費 (予算書掲載ページ：歳出288)	生涯学習スポーツ課	
	事業費	69,084千円
 <p>清瀬けやきホール</p>	財源	一般財源 69,084千円
	指定管理者委託料 建物保険料	69,049千円 35千円
<p>清瀬けやきホールは、市民の文化・芸術の拠点として、ホールや集会室などを備え、幅広くご利用いただける複合施設として、平成22年12月にリニューアルオープンしました。平成23年度においては、指定管理者（アクティオ株式会社）による、歌声サロンやワンコインコンサートなど、音楽を中心とした事業を展開します。</p>		

図書館運営費 (予算書掲載ページ：歳出292、294)	図書館	
	事業費	115,220千円
	財源	一般財源 115,220千円
	嘱託職員人件費等	75,801千円
	図書購入費	20,000千円
	図書館システムリース料等	11,014千円
	その他諸経費	8,405千円
<p>図書館サービスの充実のため、図書の購入や嘱託職員の人件費などが図書館の運営経費となっています。なお、平成23年度においては、図書館資料の充実を図るため、図書購入費を2,000千円増額しています。</p>		

博物館事業費（特別展開催経費含む） (予算書掲載ページ：歳出296、298)	郷土博物館	
	事業費	15,404千円
	財源	一般財源 15,404千円
	うちおり冊子等作成費	3,430千円
	はたおり伝承の会活動室改修費	1,831千円
	特別展開催経費	1,195千円
	その他諸経費（嘱託職員人件費等）	8,948千円
<p>清瀬市郷土博物館は、見て・触れて・体験して、さらに新たな市民文化を創造していこうと、全く新しい形の博物館として様々な事業を展開しています。平成23年度においては、「うちおり冊子」、「キョセケヤキロードギャラリーリーフレット」の作成やはたおり伝承の会活動室の改修の他、特別展「熊谷元一回顧展（写真作品、童画作品、カメラ・スケッチブックなどの遺品等展示）」を開催します。</p>		

④ 安全に暮らせるまち


市民安全推進経費 (予算書掲載ページ：歳出94)	防災安全課	
	事業費	2,949千円
 <p>清瀬第八小学校付近を見守り中</p>	財源	一般財源 2,949千円
	防犯パトロール委託料 その他諸経費	2,641千円 308千円
<p>不審者対策としてシルバー人材センターに委託して、日中や夜間に市内の見守りの実施をしているほか、小中学校の保護者や自治会の皆さんなどが自主的に行っている防犯活動に対し、ベストやウィンドブレーカーなどを貸与しています。</p>		

コミュニティバス事業費 (予算書掲載ページ：歳入41 歳出94)	防災安全課	
	事業費	18,354千円
 <p>清瀬駅北口を出発したところ</p>	財源	都 3,000千円（市町村総合交付金）、一般財源 15,354千円
	運行経費補助金 その他諸経費	17,820千円 534千円
<p>コミュニティバスについては、これまで志木街道経由と緑蔭通り経由の2つのコースを1日22便運行していましたが、緑蔭通り経由（19時台）を2便増便し、市民の皆さんの利便性の向上を図ります。</p> <p>なお、予算については、バス運行に係る車両管理費や人件費などの運行経費から運行収入などを差し引いた額を西武バスに補助金として支出しています。</p>		


家具転倒防止事業費 (予算書掲載ページ：歳入59 歳出244)	防災安全課	
	事業費	15,268千円
	財源	東京都市長会助成金 15,268千円
	器具購入・搬送委託	12,000千円
	臨時職員賃金	1,162千円
	その他諸経費	2,106千円
<p>平成21～22年度に引続き、家具転倒防止器具を無料配布します。また、取付が困難な高齢者等の世帯には、取付の支援を行います。</p>		

消費者保護対策事業費 (予算書掲載ページ：歳入45 歳出214)	産業振興課	
	事業費	9,045千円
	財源	都 3,144千円、一般財源 5,336千円
	相談員報酬	5,557千円
	相談員研修経費	80千円
	啓発資料印刷・全戸配布	1,453千円
	その他諸経費	1,955千円
<p>振り込め詐欺の巧妙化など、消費生活相談は複雑化・高度化しています。この状況に対応するため、相談員のレベルアップ(研修参加等)、相談窓口の強化、消費者教育講座、啓発資料の配布などを行います。</p>		

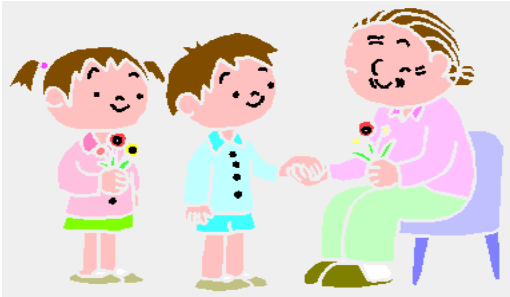
⑤ 健康で明るく暮らせるまち


各種がん検診経費 (予算書掲載ページ：歳入37、61 歳出182、186、190、192)	健康推進課	
	事業費	35,616千円
	財源	国 8,064千円、自己負担金 234千円、一般財源 27,318千円
	検診委託費	33,710千円
	その他諸経費	1,906千円
<p>清瀬市では、健康増進計画においてがん予防を重点項目に位置づけています。そこで、胃がん・子宮がん・肺がん・乳がん・大腸がん・前立腺がんの各種がん検診を自己負担500～2,000円で受診できるよう、助成をしています。</p> <p>また、20・25・30・35・40歳になった女性には子宮頸がん検診を、40・45・50・55・60歳になった女性には乳がん検診を無料で受けていただくためのクーポンを配付する「女性特有のがん検診推進事業」を昨年度同様行います。</p>		


各種健康診査事業費 (予算書掲載ページ：歳入45 歳出180、186、190)	健康推進課	
	事業費	64,194千円
	財源	都 19,825千円、一般財源 44,369千円
	妊婦健診費	37,300千円
	市民健診費	22,405千円
	成人歯科健診費	4,489千円
<p>妊婦健診に係る費用の一部を市が助成します。指定医療機関であれば都内どこでも受診できます（都外医療機関や助産所において自費で妊婦健診を受けた方も、申請により助成が受けられます）。</p> <p>30～39歳の方および40歳以上の生活保護受給者を対象に、市民健診を行います。血液検査・尿検査はもちろん、貧血検査や心電図検査などの詳細な項目も行います。また、子育て中の20～30歳代の方を中心に、幼児の歯科健診時に合わせて歯科健康教育、健診、保健指導を行うことで、歯科疾患の予防を図ります。</p>		


各種予防接種費 (予算書掲載ページ：歳入45 歳出192、194)	健康推進課	
	事業費	198,188千円
	財源	都 60,411千円、一般財源 137,777千円
	定期予防接種委託	90,080千円
	任意予防接種委託	104,427千円
	その他諸経費	3,681千円
<p>重大な病気から身を守るための予防接種を行います。定期予防接種はBCG、麻しん・風しん、日本脳炎などが対象で、自己負担なく受けていただけます。65歳以上の方は、季節性インフルエンザの予防接種も受けていただけます（自己負担あり）。任意予防接種は昨年から行っている肺炎球菌ワクチン接種（65歳以上・自己負担5,000円）に加え、今年度からヒブワクチン（2ヶ月～4歳）、小児用肺炎球菌ワクチン（同）、子宮頸がんワクチン（中1～高1の女子）の費用助成を行います（自己負担1割）。</p>		

⑥ 福祉が充実したまち

高齢者保健・障害福祉計画策定事業費 (予算書掲載ページ：歳出130)	地域福祉課	
	事業費	5,882千円
	財源	一般財源 5,882千円
	高齢者保健福祉計画策定委託	2,500千円
	障害福祉計画策定委託	2,500千円
その他諸経費	882千円	
<p>平成20年度に策定しました「清瀬市保健福祉総合計画」のうち、3カ年を1期とする高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、障害福祉計画について、改定及び見直しを行います。</p>		

よろず健康教室事業費 (予算書掲載ページ：歳入43 歳出138)	高齢支援課	
	事業費	4,714千円
<p>カラダはいつでも 元気を求めている！</p> 	財源	都 4,714千円
	運営補助員等謝礼	3,168千円
	その他諸経費	1,546千円
<p>老人憩いの家、都営シルバーピア、地域市民センターなど市内12箇所で、対象者を60歳以上とした地域交流の場「ふらっとサロン」を開きます。週に1回程度「よろず健康教室」を開き、介護予防と健康増進を図るために清瀬市独自の健康体操などを実施しています。</p>		

自立支援給付事業費 (予算書掲載ページ：歳入33、35、39、43 歳出140)	障害福祉課	
	事業費	1,098,697千円
 <p>障害者就労支援センター「ワークル・きよせ」の訓練風景</p>	財源	国 490,169千円、都 315,395千円、一般財源 293,133千円
	障害者扶助費	1,091,283千円
	その他諸経費	7,414千円
<p>障害の種類別（身体・知的・精神）にかかわらず、障害のある人々が必要とするサービスを利用できるよう、サービスを利用するための仕組みを一元化するとともに、サービスを利用する人もサービスの量に応じた負担を原則とします。</p>		

障害者福祉総務費 (予算書掲載ページ：歳出140)		障害福祉課	
		事業費	4,474千円
 <p>障害者福祉センター</p>	財源	都 996千円、一般財源 3,478千円	
	福祉マップ作成経費	420千円	
	高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会分担金	30千円	
	嘱託職員等人件費	3,236千円	
		その他諸経費	788千円
<p>障害者の方に活用していただく、市内の施設やサービスを一覧にした福祉マップを作成します。また、脳の脳の損傷によって生じる様々な生活上の困難な症状に対して、本人や家族、また周囲の人々も含めて、理解や支援を進めるための高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会に補助を実施します。</p>			

子どもの発達支援・交流センター事業費 (予算書掲載ページ：歳入43 歳出172)		障害福祉課	
		事業費	68,414千円
 <p>子どもの発達支援・交流センター「とことこ」</p>	財源	都 19,280千円、一般財源 49,134千円	
	センター委託 その他諸経費	68,390千円 24千円	
<p>障害や発達に遅れやかたよりのある子どもたちが、家族を含めて必要な時に必要な療育が受けられるよう、相談支援・発達支援・療育支援など、多様なサービスを提供しています。また、指定管理者制度を導入しており、社会福祉法人嬉泉（きせん）が管理・運営をしています。</p>			

生活保護援護費 (予算書掲載ページ：歳入35、41、43、45、59 歳出174)		生活福祉課	
		事業費	3,448,621千円
<p>生活に困っている市民に対して、困っている程度に応じて必要な保護を行っています。生活保護の種類は8種類（生活・医療・教育・住宅・介護・出産・生業・葬祭）あります。なかでも、生活扶助（衣食、その他日常生活を過ごすために必要な額を支給）と医療扶助（ケガや病気などでかかった費用を病院に支給）が大きな割合を占めます。</p>	財源	国 2,576,877千円、都 101,407千円、その他（生活保護法63条返還金等） 10,000千円、一般財源 760,337千円	
			生活保護費 その他諸経費

中国残留邦人等生活支援給付事業費 (予算書掲載ページ：歳入33、35、39、45、59 歳出128)		生活福祉課	
		事業費	36,166千円
<p>中国等から帰国した方々が安心して暮らしていただけるように、生活に困っている方に対して、困っている程度に応じて必要な給付を行っています。種類は生活保護援護費と同様に8種類（生活・医療・教育・住宅・介護・出産・生業・葬祭）あります。</p>	財源	国 27,074千円、都 607千円、その他（生活保護法63条返還金等） 50千円、一般財源 8,435千円	
			生活支援給付金等 嘱託職員等人件費 その他諸経費

福祉が充実したまち


⑦ 利便性を高める都市基盤づくり

市庁舎の耐震診断及び改修調査事業 (予算書掲載ページ：歳出98)	総務課	
	事業費	5,828千円
	財源	一般財源 5,828千円
	耐震診断及び改修調査費	5,828千円

市役所本庁舎は、建築後38年が経過し老朽化が著しいため、建物の耐震診断及び外壁や設備などの改修調査を実施します。

道路整備事業費 (予算書掲載ページ：歳入41、47、61 歳出222)	建設課	
	事業費	238,217千円
 <p>市道0209号線</p>	財源	都（土木補助）46,600千円、都（市町村総合交付金）40,700千円、地方債136,000千円、一般財源14,917千円
	道路整備工事費 その他諸経費	236,000千円 2,217千円

交通の基盤である道路の整備を行います。平成23年度は市道12路線の整備及び補修をします。特にけやき通りから柳瀬川回廊へとつながる市道0209号線（清瀬中学校西側）の拡幅・歩道設置工事によって、交通の利便性だけでなく都市景観の向上、住環境の整備を図ります（詳しい場所は資料編の31ページをご覧ください）。

下水道事業特別会計繰出金 (予算書掲載ページ：歳入47 歳出230)	下水道課	
	事業費	304,041千円
 <p>雨水L型集水ます（左側）と汚水L型公共ます（右側）</p>	財源	都（緊急雇用創出事業費）2,791千円 一般財源 301,250千円
	繰出金	304,041千円

下水道事業特別会計は、下水道の使用料や建設地方債（建設費のための借金）で賄うのが原則ですが、資金が不足する場合、一般会計が赤字分を補てんすることとなっています。これを繰出金といいます。

平成21年度から継続して行っている下水道管耐震化工事（21,000千円）に加え、平成25年度から開始予定の新規雨水管理設を始めるための準備経費（50,000千円）など、建設関係経費が増加したことから、当繰出金も昨年度（97,683千円）から大きく増加しています。

⑧ 豊かさを育む産業の育成


農業推進事業費 (予算書掲載ページ：歳入53 歳出208、210、212)	産業振興課	
	事業費	2,500千円
	財源	農協寄附 300千円、一般財源 2,200千円
	ひまわりフェスティバル補助 きよせ産野菜PR補助	2,300千円 200千円
<p>平成20年度から行っているひまわりフェスティバルへの補助を今年も行います。毎年盛況で、昨年度は3万7千人が来場されました。</p> <p>また、清瀬産野菜種としてブランド化したベーターキャロットと霜当てほうれん草のPR活動を助成します。</p>		


商工会等育成費 (予算書掲載ページ：歳入45 歳出212)	産業振興課	
	事業費	41,569千円
 <p>清瀬商工会ホームページより</p>	財源	都 10,285千円、一般財源 31,284千円
	プレミアム商品券発行補助等 新・元気をさせ！商店街事業補助 にんじん焼酎販売補助 その他補助金	20,100千円 19,369千円 300千円 1,800千円
<p>商店街を活性化するための新・元気をさせ！商店街事業として、各種行事やセールを助成します。また、市内での買い物を促すため、プレミアム付商品券1億円分の発行を助成します。</p> <p>また、きよせ産野菜であるベーターキャロットを使用したにんじん焼酎をより多くの方に知っていただくため、販売PRの補助も行います。</p>		

融資事業費 (予算書掲載ページ：歳入59 歳出212)	産業振興課	
	事業費	6,500千円
<p>小口融資資金利子補給は中小企業の事業者に対して融資を行い、融資資金の利子の一部を補助します。また、事業者が加入する保証協会の保証料の1/2を補助します。</p>	財源	返還金 1千円、一般財源 6,499千円
	小口融資資金利子補給 保証協会保証料	4,500千円 2,000千円

緊急雇用対策事業費 (予算書掲載ページ：歳入47 歳出86、108、204、210、220、230、236、250、288)	産業振興課ほか	
	事業費	97,197千円
<p>長引く景気低迷により、失業が深刻な問題となっております。そこで、失業した方の一時的な雇用（最長6ヶ月）などを通して、市の業務の一部を担っていただきます。東京都の補助金を財源として活用します。</p> <p>業務内容は市内清掃・低木の剪定や、未だ紙でデータを管理している学校図書館の蔵書のデータベース化を行います。</p>	財源	都 97,197千円
	市内清掃・樹木剪定 学校図書室蔵書データベース化 下水道システム入力 その他事務補助員等	55,967千円 26,836千円 2,791千円 11,603千円


⑨ 豊かな自然を大切にするまち

環境保全啓発費 (予算書掲載ページ：歳入59 歳出198)	環境課	
	事業費	5,508千円
	財源	(財)自治調査会助成金 1,500千円、 一般財源 4,008千円
	環境フェア開催経費 太陽光発電機器設置補助	1,508千円 4,000千円
<p>昨年度に続き「みんなで作ろうふるさと清瀬」をテーマに環境フェア清瀬を開催します。</p> <p>東日本大震災をきっかけに、エネルギーや資源への関心が高まっていますので市民協働で学習する場の提供及び省エネルギー化を推進するために今年度は、太陽光発電機器設置に加え燃料電池（エネファーム）を設置した市民に対して、費用の1割（上限20万円）を助成する補助事業も行います。</p>		

緑地保全事業費 (予算書掲載ページ：歳入：51、53、55、61 歳出232、234)	緑と公園課	
	事業費	29,790千円
 <p>清瀬の象徴であるけやき通りのケヤキ</p>	財源	都 2,099千円 基金利子 2千円、基金繰入 50千円、寄附金 1,100千円、冊子頒布金200千円、一般財源 26,339千円
	緑地環境保全区域助成	20,284千円
	けやき通りケヤキ診断	2,890千円
	生垣助成	1,000千円
	松枯れ防止剤委託	400千円
	その他諸経費	5,216千円
<p>毎年行っている緑地環境保全区域への補助を行うとともに、清瀬市の象徴であるけやき通りのケヤキの状態を三カ年かけて診断します。</p> <p>市内の緑化を推進するため、生け垣等を新たに造成する場合、上限10万円を補助します。さらに、竹丘公園を中心として松枯れ防止のための薬剤注入を委託し、清瀬の自然と環境の保護を推進します。</p>		


花のあるまちづくり事業費 (予算書掲載ページ：歳出234)	緑と公園課	
	事業費	8,718千円
 <p>清瀬駅北口に設置されたボックスプランターと椅子</p>	財源	一般財源 8,718千円
	植栽維持管理委託	7,400千円
	プランター修繕 その他諸経費	567千円 751千円
<p>花のあるまちづくり事業は、清瀬駅前通りや公共施設などに年間を通して季節の花の植え替え・管理を行い、「花とみどりの公園都市」を目指すものです。</p> <p>駅前広場の二段組ボックスプランターが老朽化しているため、修繕を行います。</p>		

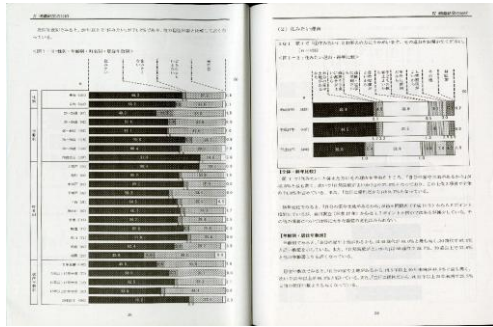
⑩ だれもが住みやすい快適なまち

公園整備事業費 (予算書掲載ページ：歳入41 歳出232)	緑と公園課	
	事業費	37,800千円
 <p>金山緑地公園の池</p>	財源	都(市町村総合交付金) 9,400千円、一般財源 28,400千円
	中央公園プール撤去経費	26,000千円
	金山緑地公園池浚渫工事	10,000千円
	金山緑地公園木道改修	1,500千円
	いこいの水辺装飾灯改修	300千円
<p>すでに利用されていない中央公園のプールを撤去します。また、金山緑地公園の池を浚渫(しゅんせつ)します。浚渫には、水を取替えずに池の底に溜まったヘドロを取り除く工法を使います。 その他にも、市内公園の老朽化した設備を改修します。</p>		


椅子のあるまちづくり事業費 (予算書掲載ページ：歳出234)	緑と公園課	
	事業費	650千円
 <p>寄附により設置された椅子</p>	財源	一般財源 650千円
	市内椅子補修工事	600千円
	謝礼	50千円
<p>当事業は平成9年度から始まった事業で、市内に椅子を設置し快適な住環境を整えてきました。椅子は木でできているため、雨にさらされて傷んだ部分を補修します。</p>		

⑪ 市民協働によるまちづくりの推進


市民活動センター関係経費 (予算書掲載ページ：歳入59 歳出88)	企画課	
	事業費	4,916千円
 <p>市民活動団体発表会</p>	財源	(財)自治調査会助成金 807千円、一般財源 4,109千円
	施設運営委託料 その他諸経費	4,648千円 268千円
<p>市民活動に関する情報の発信・収集・交換、市民活動に関する相談やボランティア活動のコーディネーターなどを、市民活動センターで行っています。センターの運営はNPO法人である「清瀬市民活動の会」に委託しています。</p> <p>また、平成23年度は、(財)自治調査会の助成金を活用し、「団塊世代の地域デビュー支援事業」、「子守唄を通じた多世代交流事業」といった事業を展開するなど、市民協働によるまちづくりを推進します。</p>		

世論調査実施経費 (予算書掲載ページ：歳出78)	秘書広報課	
	事業費	1,800千円
 <p>世代・地域ごとに集計された調査結果(前回調査)</p>	財源	一般財源 1,800千円
	世論調査費	1,800千円
<p>世論調査は、市民の皆さんの市に対するご意見やご要望を、今後の市政運営に反映させることを目的に、3年ごとに行っているもので、1,000人を対象に実施します。</p>		

⑫ 健全財政の確立と効率的な行政運営

職員研修費 (予算書掲載ページ：歳出72)	職員課	
	事業費	7,513千円
 <p>庁内研修の様子</p>	財源	一般財源 7,513千円
	市独自研修費	2,700千円
	東京都市町村職員研修所負担金	3,940千円
	その他諸経費	873千円
<p>住民ニーズの高度化や地方分権の進展により、これまで以上に職員の資質向上など人材育成が急務となっています。清瀬市では、東京都市町村職員研修所での研修に加え、市独自で法務や接遇などの研修を実施しており、平成23年度には新たに民間企業への派遣研修を行います。</p>		

市税のコンビニ収納関係経費 (予算書掲載ページ：歳出82)	会計課・税務課	
	事業費	4,491千円
	財源	一般財源 4,491千円
	収納代行業務委託料	4,491千円
	<p>市民の皆さんのライフスタイルの多様化にあわせ、平成23年度よりコンビニ収納を開始し、市税納付の利便性向上を図ります。(対象税目：市都民税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税)</p>	

旧清瀬第九小学校跡地売却収入を財源とした旧都立清瀬東高校跡地取得費借入金繰上償還 (予算書掲載ページ：歳入53 歳出310)	総務課・財政課	
	事業費	750,000千円
 <p>旧清瀬第九小学校跡地</p>	財源	旧清瀬第九小学校跡地売却収入 750,000千円
	借入金繰上償還費	750,000千円
	<p>平成14年3月に統廃合により閉校となった旧清瀬第九小学校の跡地を売却し、旧都立清瀬東高校(現「清瀬市コミュニティプラザ」)の跡地利用について検討いただいた清瀬東高校等跡地利用検討委員会からの答申に基づき、平成21年4月に取得した旧都立清瀬東高校跡地取得費の財源として借入れた地方債の一部繰上償還費に充当します。 なお、売却後の旧清瀬第九小学校跡地については、良好な低層住宅地としていく予定です。</p>	